

【解説】：貸借対照表

- 1 平成22年度末の資産合計は、流動資産8.6億円、固定資産69.5億円で、あわせて78.1億円です。一方、負債合計は、流動負債5.4億円、固定負債5.9億円で、あわせて11.3億円となっています。
- 2 したがって、平成22年度末の正味財産は66.8億円となり、平成21年度末の71.5億円と比べ、4.8億円の減少となりました。
- 3 正味財産の減少は当機構発足後初めてのことでありますが、この減少要因は、システムのハードウェア・ソフトウェア等（簿価）の項目である「建物」、「什器備品」、「ソフトウェア」、「ソフトウェア仮勘定」が合計で8.1億円減少（減価償却費10.1億円、新規取得2.0億円）しましたが、収入の減を反映して、期中の減価償却に見合った額の減価償却引当資産を確保できなかったこと等によるものです。